



# 電子ジャーナル・電子ブック・データベースの利用

## 信州大学で利用できるデータベース

学術情報データベースには、論文・文献情報検索のためのもの、新聞記事や辞書・事典、各種研究データを収録したものなどがあります。

信州大学で利用できるデータベースは、以下の通りです。

### 論文・文献情報データベース(全分野)

データベース名	概要
Web of Science	論文間の引用・被引用情報も収録する、世界を代表する学術文献データベース。 自然科学・社会科学分野それぞれ、1990年以降のデータを利用可能です。 また、文献管理ツールEndNote basicも利用可能です。
Journal Citation Reports	Web of Science収録の引用情報を基にした指標「インパクトファクター」を収録した、学術雑誌の評価・比較用データベース。
JDreamⅢ	科学技術・医学・薬学分野の文献情報データベース。 論文集・予稿集も収録しています。各論文に日本語抄録が付与されるなど、日本語検索機能も充実しています。
Web OYA	雑誌専門図書館「大宅壮一文庫」のデータベース。 週刊誌・女性誌・文芸誌・ファッション誌などの一般誌を中心に、記事索引が収録されています。

### 論文・文献情報データベース(特定分野)

データベース名	概要
SciFinder	化学分野中心の文献情報データベース。科学文献・特許情報や、化学物質・化学反応の情報も収録しています。化学構造や反応からの検索も可能です。
MathSciNet	American Mathematical Society (アメリカ数学会) が提供する、数学分野の論文情報データベース。
医中誌Web	日本国内の医学・歯学・薬学や看護学・獣医学など医学関連領域の文献情報データベース。「医学用語シソーラス」に基づいたキーワード付与が特徴です。(松本キャンパス限定)
Econlit	American Economic Association (アメリカ経済学会) 作成の、経済・経営学関係の論文情報データベース。 学位論文やワーキングペーパーの情報も収録しています。
PsycINFO	American Psychological Association (アメリカ心理学会) が作成する、心理学関係の抄録・論文情報データベース。 雑誌記事のほか、学位論文や技術報告書も収録対象です。

論文・文献情報データベースでは、学術雑誌などに掲載された論文・記事や文献を、タイトルや抄録(Abstract)、キーワードから検索します。目的の論文・文献の入手には、掲載誌の所蔵を電子ジャーナル検索PublicationFinderや蔵書検索(OPAC)でご確認ください。

### 新聞記事・事典データベース

データベース名	概要
ジャパンナレッジLib	「日本大百科全書」を中心とした、辞書・事典類のデータベース。「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」等辞書・専門事典や「東洋文庫」など複数コンテンツの横断検索が可能です。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞記事の全文データベース。1879年の創刊号からの記事検索、紙面イメージ表示のほか、知恵蔵やアサヒグラフも利用可能です。
日経テレコン21	日本経済新聞社提供の新聞記事・企業情報データベース。「日本経済新聞」など日経四紙のほか、企業情報、人事情報などが利用できます。
ヨミダス歴史館	読売新聞の記事データベース。1874年(明治7年)の創刊号からの記事検索や、最近の記事の閲覧が可能です。
信濃毎日新聞データベース	長野県の地域新聞、信濃毎日新聞の記事全文データベース。明治6年7月5日の創刊号から利用可能です。(各図書館内の指定端末限定)
House of Commons Parliamentary Papers (HCPP)	英国下院議会資料の全文データベース。19-20世紀(1801-2004)、および"Long 18th century"(1688-1834年)の Bills(法案)や House of Commons Papers(議院文書)などを収録しています。

- これらのデータベースは、大学内からのみ利用可能です。(リモートアクセスについては、p.13をご覧ください。)
- その他、CiNii Articles(日本国内の学会誌・大学紀要を収録した論文情報データベース)など無料公開されているものもありますので、附属図書館ホームページ「資料を探す」>「学術情報データベース」ページからご利用ください。
- また、各分野のデータベースについては各学部図書館のページ(p.19~p.31)でも紹介しています。



中央図書館パソコンコーナー